

ホンダエアバッグ装着車配線説明書

この度は弊社製品をお買上頂きまして誠に有難うございます。

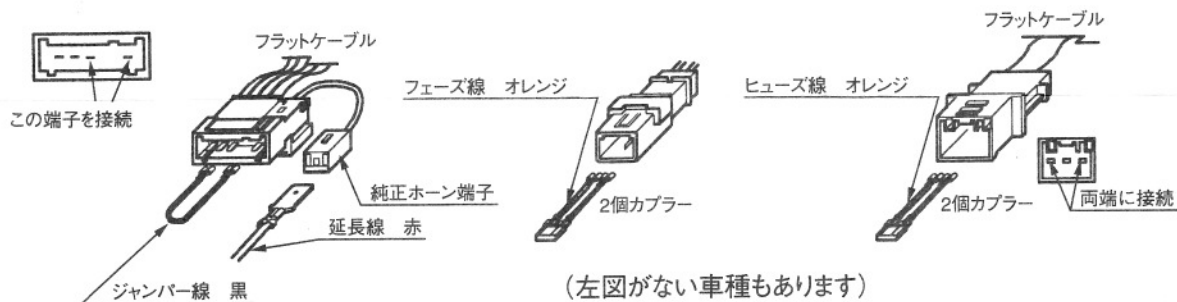
ステアリングホイール及びハブの車両への取り付けに関して、配線は下記説明書をお読みになってからお取り付け下さい。又、下記説明以外の基本的な取付に関しては、別紙の「取付説明書」及び「エアバッグ装着車に対する取付注意事項」に従って下さい。尚、事故防止の為、これらの説明書はある程度の経験と知識を持った方を対象に記載しております。自信のない方や、車両と本説明書の内容を見て全く意味の解らない場合、純正ハンドルの取り外し方法が解らない、取り外しに必要な工具を用意できない等に該当の場合は専門の人に相談することをお勧めします。誤った取り外し方法による事故等弊社では責任を負い兼ねます。ご了承下さい。

お断り：車両によっては警告灯を消灯できない場合がございます。又、消灯できた場合、助手席エアバッグが装備されている車両では事故の際に助手席のエアバッグが正常に機能する場合がございます。作業時の注意事項は純正と同様です。

1. 純正ステアリングを取り外す。
2. 出荷状態（化粧箱から取り出した状態）からハブカバーアウターを取り外す。
3. ステアリングホイールを取付けずに、ステアリングシャフトにハブを挿入する。

この時、ハブのTOPマークを真上にしてハブ底部の溝と車両のウインカーキャンセルカム及びピンがハブ底面のプレートに合うようにする。

4. 車両スパイラルケーブルより出ているカプラーに付属のコードを接続する。



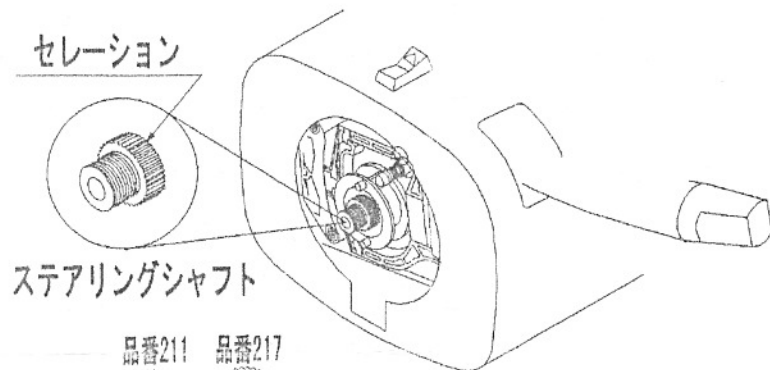
5. 純正ホーン端子に延長線（赤）を接続する。
6. スパイラルケーブルより出ているコードをすべてハブに半周程巻き、5で接続した赤線をハブのコード穴を通し、ハブの中に入れる。
7. その他のコード、カプラーはきれいに本体に巻き付ける。
8. ハブカバーアウターを取り付ける。コネクタ類をハブとカバーの間にしまっておく事。
9. その後は通常のハブと同じ。

※すべての取付終了後、下記症状が表れた場合、参考として下さい。

- ハブの中から異音がある、異音が大きい
→ ハブの中でコードが遊んでいると音が出ます。テープ等でまとめてください。強くこすれる金属音がある場合はセンターボルトの締め過ぎによるハブの割れが考えられます。亀裂がある様でしたら新品をお買い求めの後、ゆっくりと適正トルクで締め付け下さい。
- SRSチェックランプが点灯してしまう場合
→ 適切な手順で作業を行わないと点灯する場合があります。初めからやり直してください。（作業途中でバッテリーを接続すると点灯することがあります）又、やり直しても消灯しない場合は純正に戻した状態で確認した後ディーラーで消してもらってください。どの方法を用いても消灯しない場合もあります。ご了承下さい。（点灯したままで走行に支障はありません）

!!!!ご注意下さい!!!!

一部シャフト径の異なる車両があります。ボスをシャフトに挿入しても、かみ合わずに空転する場合はボス品番が異なります。お買い求めの店頭か弊社までお問い合わせ下さい。



ステアリングシャフト

品番211

品番217



14.9mm

16.0mm

セレーション直径

(株)ワークスベル

0266-79-3761